

現時点での把握情報

- 12月13日(火)2130頃、普天間基地所属のMV-22オスプレイが沖縄県名護市東海岸に不時着水した。併せて、搭乗員5名については、怪我人2名を含むものの意識ははっきりしており、全員が無事であるとの情報。

- これまで、米側から、事故に関しては以下の情報を得ている。
 - ・ 不時着水したMV-22オスプレイは、普天間基地を離陸後、沖縄東方の海上で、別のMV-22オスプレイ及びCH-53とともに、KC-130からの空中給油訓練を実施中、ホースが切れ、不具合が生じ飛行が困難となった。
 - ・ 普天間基地に帰還を試みたが、普天間基地は周りが住宅地にあるため、万が一のことを考え、目的地をキャンプ・シュワブに変更し、更に地元への影響を極小化するため海岸沿いを飛行していたが、途中、辿り着けないと分かったので最終的に浅瀬に着水した。
 - ・ その際、機体はコントロールできる状態にあり、パイロットが意図した地点に着水した。
 - ・ 事故の原因が機体である可能性は極めて低い。
 - ・ MV-22オスプレイについては、安全が確認されるまで一時飛行が停止される

- 本日1500、沖縄においてニコルソン4軍調整官から記者発表が行われる予定。